



### 兵庫県立人と自然の博物館の先生によるコラムだよ!

#### 来てね!コレクションナリウム

2022年にオープンした人と自然の博物館 (=ひととはく) 新収蔵庫棟コレクションナリウム、もうご覧いただけましたか?中に入ると、かわいい鳥たちときれいな昆虫たちが迎えてくれます。生きた鳥の観察には少しばかりテクニックが必要ですが、ここではゆっくり眺めることができます。昆虫の標本は、海外に行かないとみられないものばかりです。展示室内の什器の引き出しも是非開けてみて

ください。ダイオウイカの腕等、様々なかたちの標本や図鑑などが入っています。少し奥にあるワークルームには、生き物や石の図鑑類があって調べものをするができます。



建物の周囲には教科書にてでくる岩石が一式置いてあります。見るだけでなく、ぜひ触って違いを確かめてみましょう。ひととはくの本館は有料ですが、コレクションナリウムの入館は無料ですので、どうぞお気軽にお越しください。

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授  
兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境評価研究部 研究部長・主任研究員 高野温子

市民の皆さんからの相談をお待ちしています

### 次回の市政相談は7月1日(月)です。

\*やむを得ず日程が変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

- [相談場所]** 市役所6階 委員会室
- [相談時間]** 午後1時から午後4時まで 1件につき50分
- [申し込み]** 6月25日(火)までに、申込書を議会事務局まで

議員と意見交換しませんか?

### 伺います さんだ未来トーク

★詳細はホームページをご覧ください。

### 6月定例会は5月24日に開会しました

5/24(金)	10:00~	本会議
5/27(月)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
5/28(火)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
5/29(水)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
6/ 7(金)	10:00~	本会議 一般質問
6/10(月)	10:00~	本会議 一般質問
6/11(火)	10:00~	本会議 一般質問(予備日)
6/12(水)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
6/13(木)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
6/14(金)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
6/17(月)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決
6/24(月)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決

\*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

### 表紙紹介

### あじさい

あじさいは6月中旬から7月上旬が見頃です。相野あじさい園では、100種2万株の鮮やかなあじさいの花が、不思議な色の変化で見る人の心を別世界へと誘います。ぜひお気に入りのあじさいを見つけに出かけてみてください。

今号から三田市在住のイラストレーター、宮館みねりさんに表紙を描いていただくことになりました。



あらゆる人と共に...



6月号  
2024  
vol.179

三田市議会だより



代表質問\3月定例会の結果\市長に対する不信任決議\予算審査\議会報告会\高校生議会



三田市議会だより 2024.6 vol.179

〒669-1595 三田市三輪2-1-1  
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992  
✉ gikai\_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

[https://www.city.sanda.lg.jp/shisei\\_joho/gikai/index.html](https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html)

三田市議会HP



### 編集後記

梅雨を迎え少し憂鬱な気分になりがちですね。そんな時は気分転換にあじさい観賞を楽しむのはいかがでしょうか。お気に入りの傘をさして雨の日に出かけてみるのもいいかもしれませんね。今回の「つなぐ」は盛りだくさんの内容となりました。これからもわかりやすく、親しみのある広報紙づくりに努めてまいります。(福田佳則)



この広報紙は環境保護のため、植物油インキを使用しています。

24議8-026A4

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube

本会議の録画映像を公開しています。

Facebook

市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。



SANDA CITY COUNCIL

# 質問

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

3月定例会では、6つの会派を代表する各議員が代表質問をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人90分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会ユーチューブチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

盟政会

福田 秀章 議員



市政

## 市長の政治姿勢とまちづくりの方向性は

議員 市長は、「こどもを核としたまちづくり」を進めるとしているが、まちが輝く姿がイメージできない。どのようなまちを目指すのか。また、その進め方を伺う。

### 「元気な三田」の実現へ

市 私が目指すまちは、「元気な三田」である。実現にはまちの主役である市民の存在が欠かせないため、「人口減少を食い止める」ことを最優先に取り組む。「こどもを核としたまちづくり」は、まちの活力を生み、「誰もが安心して暮らせるまち」になると確信している。子育て世代へ訴求するため、市の魅力的な資源をさらに磨き上げPRするとともに、医療費や給食費の無料化などの経済的支援や住宅供給の促進など、ソフト・ハード両輪で子育て支援策に積極的に取り組む。(田村市長)

農業

## 持続可能な農業に向けた取組は

議員 令和4年度に策定した第5次三田市農業基本計画に掲げる施策の進捗は。

### 将来像に向け、各施策を円滑かつ着実に進める

市 農業基本計画では、将来像と5つの基本方針を掲げ、農業委員会や県・JA兵庫六甲など関係機関と連携して諸施策の具現化を図る事業を展開している。引き続き、市の特性である都市近郊農業の魅力を最大限に発揮する農業生産体制等の構築をさらに進めていくとともに、農業による多面的機能の維持に向けて各施策を円滑かつ着実に進める。(西田副市長)

消費者安全

## 消費者教育推進計画で幅広い世代に啓発を

議員 消費者トラブルの多様化・複雑化や成人年齢の引き下げにより、自立した消費者の育成が求められる。推進計画を策定し、幅広い世代を対象にした消費者教育を推進してはどうか。

### タイムリーな啓発事業に注力したい

市 消費者教育の推進に関する法律に基づく消費者教育推進計画は、本来的に広域的な視座を持つことから県の計画に依拠することとし、市消費生活センターの限りある資源は、市や世代ごとの特性を踏まえたタイムリーかつ実効性のある啓発事業に注力したい。(印藤地域共創部長)

他の質問 ●三田市民病院の再編統合に関連した市としての諸課題について 他3件

新政みらい

厚地 弘行 議員



市政

## 公開質問状の内容について説明を

議員 市長選挙後に不可解にも支援者との接触を避けているというのは本当か。公約の病院統合白紙撤回の撤回について、市長自身の考えの市民への説明も不足している。また、選挙後の慰労会の内容はどのようなものか。公職選挙法で認められないと認識しているが、選挙管理委員会の見解を伺う。

### 説明不足を認識している

市 支援者であっても事前に情報を伝えることは好ましくないと考える。再編統合については説明を尽くせていないと十分認識しており、令和6年3月1日からYouTubeを活用し、再編統合の再開に至った経緯と現在の取組状況について配信を始めた。(田村市長)

慰労会の内容について把握していないが、一般論として当選祝賀会その他の集会を禁止する公職選挙法に抵触する可能性は否定できない。(田中行政委員会事務局長)

学校給食

## 学校給食の質の向上を

議員 食材の高騰により給食の副菜を2品から1品に減らすなど質の低下がみられ、保護者アンケートでは給食の質の向上を求める意見が多くある。無料化より質を優先し、栄養満点の給食を児童生徒に提供すべき。三田の質の高い給食で他市より秀でるべきと考えるがどうか。

### 食べて良かったと実感できる充実した給食を提供

市 学校給食運営協議会の答申に基づき、令和6年度からは食材の物価高騰分を保護者負担とせず市が負担することで、副菜を含め充実した内容の給食が提供できるものと考えている。今後も給食の質の低下を招かないよう定期的な見直しを行っていく。(鹿嶽教育長)

福祉

## 総合福祉保健センターのステージの段差解消を

議員 総合福祉保健センターの多目的ホールステージへ上がる際に、障害のある方や高齢者が60cmの階段に苦勞している姿をよく見る。車椅子を持ち上げるリフトはほとんど使われていない。段差が30cmの市民センターもあるが、そもそも段差は必要か。工夫次第では段差なしにもできるのでは。

### 適切で使いやすい高さなどを検討する

市 当センターは開設から30年近く経過しており、施設利用者のニーズや状況変化に応じた再検討が必要な時期に来ている。多目的ホールステージは、今後予定している大規模改修に合わせ、適切で使いやすい高さなどを検討する。

(岸本共生社会部長)

他の質問 ●予算の財政見直しについて ●ふるさと納税の強化について 他3件



公明党

松岡 信生 議員



市政

### 2つの子育て支援策、公約実現は

議員 令和6年3月定例会の提案理由説明で、市長が約束された令和6年度からの2つの子育ての無償化は、予算案だけでなく実行も「任期中を目指す」と改変。公約を信じ一票を投じた子育て世代の気持ちは計り知れない。近年の物価や人件費高騰からの緊縮財政は、容易に判断される理由にならない。自身が公言した約束事を受け止めた上で、令和6年度予算または令和5年度内補正予算も含め、計画的にロードマップを示す必要があったと考えるが、市長の見解を伺う。

#### 一定の見通しが立てば柔軟に判断する

市 「高校生までの医療費無料化」、「中学校給食の無料化」は、令和6年度予算化に向け検討を行ったが、さまざまな行政課題から公約の実現は見送った。今後、令和6年夏までに財政構造の改善に向けた取組を行い、一定の見通しが立てば令和7年度に拘らず柔軟に判断したい。

(田村市長)

学校再編

### 財政的視点も含めた学校再編の進め方は

議員 令和5年6月に公表した財政見通しでは、10年後は47億円、20年後は108億円の収支不足が見込まれるが、将来的な影響から学校再編等の取組は先送りできない。市長は「学校存続、少人数学級推進」を公言したが、学校再編は停止しており、「学び合い、高め合える」教育環境確保の取組を進めるべきでは。

#### フラワータウンはまち再生の取組を見定めるまで一時中断

市 令和4年3月の総合教育会議で、基本方針に基づき小中学校で再編の取組を進めることとし、対象エリアや学校も市ホームページ等で公表。フラワータウンでは、若年層の誘致、子育て層の移住促進など、まちの再生に向けた取組が進められてきており、現段階ではその状況を見定める必要があるため、協議を一時中断している。(鹿嶽教育長)

健康

### 県補助事業「带状疱疹ワクチン接種」、市も助成を

議員 県は、令和6年度予算案に市町補助として「带状疱疹ワクチン接種」助成費用を計上。高齢者の多くが罹患する带状疱疹のワクチン接種支援は、この時代に求められる「一人に寄り添う」施策であり、随伴補助を含め、支援に向けた市の取組姿勢を伺う。

#### 県下市町の動向を注視し、具体的に検討する

市 当該ワクチン接種は、全国的に公費助成の自治体が増加傾向にあり、県も経済的負担軽減と発症及び重症化予防を目的に、令和6年度に接種費用補助事業を実施する。市としても県の趣旨を踏まえ、県下近隣市町の動向を十分に注視し、具体的な検討を進めたい。(西田副市長)

他の質問 ●2040を見据えた自治体としての戦略について 他3件

市民の会

美藤 和広 議員



シティセールス

### 公共施設や観光拠点の通信環境整備を

議員 シティセールスの観点から、公共施設の見直しが必要では。また、観光ビジョンとさんだまち博を生かすためにも、公共施設や観光拠点の通信環境を整備し、観光案内・誘導を行うことで、安心して観光できるシティセールスを強化しては。

#### ソフト・ハード・DXでシティセールスを強化

市 ソフト面は、観光ビジョンにおいて、経済活動の促進と循環による豊かさを創出するため、着地型観光の強化を図るものとして令和3年度からさんだまち博を開催し、参加者も年々増加中。今後、認知度向上や各施策の周遊化により滞在型観光を推進し、観光消費拡大を図る。ハード面は、施設を生かして様々な施策に有機的に寄与し、民間事業者との連携も含め取組を進める。DX推進の視点では、関係機関・事業者<sup>ワイファイ</sup>に観光施設のWi-Fi環境整備を働きかけ、携帯端末利用支援も含め、ソフト・ハードの相乗効果で推進する。(西田副市長)

説明

DX(デジタルトランスフォーメーション):デジタル技術の活用による変革

公共交通

### 公共交通再構築によりニュータウンの移動支援を

議員 神鉄ウッディタウン中央駅からテクノパークやカルチャータウンへの延伸と、グリーンスローモビリティ等による二次、三次交通の接続が必要では。

#### バス等を活用した新たなネットワーク再編に取り組む

市 神鉄ウッディタウン中央駅からテクノパーク等への交通の必要性は認識しており、バス等を活用した新たなネットワークの再編に取り組む。また、多様な交通需要に合わせた組み合わせと役割分担が重要で、新たな移動手段としてグリーンスローモビリティ等も活用し、相互連携の仕組みの構築により、地域の移動性の確保・向上を図る。(山添まちの再生部長)

説明

グリーンスローモビリティ:時速20キロメートル未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービス

福祉

### 急激な高齢化を支える地域の体制に支援を

議員 民生委員・児童委員は国の委託活動であるが、急激な高齢化が進む中、役割が多く重くなっており、体制を見直すべきでは。また、区・自治会や社会福祉協議会への一層の支援が必要では。

#### 各支援策や広報により、地域福祉を守る

市 民生委員・児童委員については、活動紹介やPR、ICT活用により、負担軽減や業務の簡素化等の支援を進める。また、区・自治会は、加入促進や広報・周知活動の支援、行政事務委託業務や役員の負担軽減を図り、社会福祉協議会は、活動促進などの事業補助と、職員派遣や事務局運営への財政的支援を継続する。

(西田副市長)

他の質問 ●田村市長の三田市に対する思いについて 他4件



日本共産党三田市議団  
水元 サユミ 議員



市民病院

議論の前提が統合ありき  
だったのではないか

**議員** 宝塚市立病院は、統合ありきではなく議論して市内建て替えを決めた。一方、三田市は神戸市会や森前市長の発言を見るに神戸大学の意向があり、市長も令和5年9月定例会で述べたように「統合ありき」で議論が進められてきたのではないか。市内に病院を残すための議論が十分に行われておらず、地域医療市民会議なども前市政の意見交換会の補完という位置付けで、議論の前提が間違っている統合を進めるべきではない。

広域的な医療資源集約化を掲げ、検討がなされてきた

**市** 統合ありきではなく、救急医療を守っていくためには広域的なエリアでの医療資源の集約化を行っていく必要があり、議論を進めてきた。  
(喜多地域医療推進担当部長)  
市民会議のあり方として広く市民の声を聞くということは変わるものではない。あえて踏襲という説明はしていなかった。(田村市長)

子育て支援

一部でも無料化していく  
考えはなかったのか

**議員** 県内では無料化実施の自治体が増えている。こども医療費か学校給食費のどちらか片方の無料化や多子世帯の3人目からの無料化などを検討し、令和6年度から何としても公約を進めるべきだったのではないか。公約に対する考え方が軽すぎるのでは。

負担軽減を図ったが、無料化導入には至らなかった

**市** 令和6年度の予算編成において想定を超える収支不足に直面し、目の前の市民生活や先送りできない課題への対応を優先した。給食費では追加で公費を投入し、保護者負担の軽減等を図ったが、約3億円を要する無料化の導入には至らなかった。(田村市長)

市政

リコールの声がある中で  
辞任は考えないのか

**議員** 市民病院の公約を3カ月半で破棄し、子育て2つの無料化は令和6年度予算になく、前市政と変わらない市政運営に対して、市長の言う元気な三田の姿は見えない。発言も変わっていく市長に対し市民からリコールを求める声があるが、辞任する考えはないのか。

辞任するつもりはない

**市** 令和5年12月定例会で申し上げたとおり、辞任するつもりはない。市政運営について、前市政とは全く違うと思うが、前市政を全否定するつもりはなく変えるべきところは変えている。また、公共施設マネジメントの方針は変えていない。(田村市長)

**他の質問** ●公に対する考え方について

日本維新の会 三田  
林 政徳 議員



市民病院

再編統合に向けた良好な  
関係作りは

**議員** 令和5年3月31日に、三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合に係る基本協定書を締結したが、田村市長の就任によって神戸市や済生会兵庫県病院に不安を与え、迷惑をかけている。今後の良好な関係構築のための具体的な取組は。

関係機関に訪問し、良好な関係の継続に取り組む

**市** 令和6年1月25日に、三田市、三田市民病院、社会福祉法人恩賜財団済生会支部兵庫県済生会、神戸市の四者で、三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合に係る確認書を締結した。現在、新統合病院基本計画策定などの取組を再開しており、お互い協力し合う中で良好な関係構築が図られている。今後も、神戸市、済生会兵庫県病院をはじめとする関係機関に改めて訪問し、良好な関係を継続できるよう取り組んでいく。  
(田村市長)

働き方改革

医師の働き方改革開始後の  
市民病院の体制は

**議員** 令和6年4月から医師の働き方改革が開始されるが、市民病院における医師の配置と診療体制は。

就業管理を徹底し、診療への影響を最小限に

**市** 医師の年間の時間外勤務を960時間に制限するA水準での運用を見込んでいる。通常業務に加え、夜間救急対応等に要する時間についても、令和5年度に導入した就業管理システムにより今まで以上に正確かつタイムリーに労働時間を把握し、一般診療及び救急外来での診療への影響を最小限にとどめる体制を検討している。  
(上田市民病院事務局長)

地域医療

高校生をはじめ若者が医療  
従事者を目指す取組は

**議員** 医師をはじめ医療従事者の確保が困難となっているが、若者が医療現場に触れ、医療従事者を目指すきっかけとなる取組が必要では。

高校生対象に神戸大学と共同事業を開始

**市** 令和6年度から神戸大学との新たな共同事業として、市内在住・在学の高校生を対象に、神戸大学医学部への見学も含めたサイエンスツアーや講演会、意見交換会を実施予定。将来の医師をはじめとする医療従事者を地域で育成し、地域で雇用する仕組みをつくることで、長期的な医療従事者の確保対策を進める。  
(上田市民病院事務局長)

**他の質問** ●三田市における人口減少に対する取組について 他1件



# 令和6年 3月定例会の結果

2月19日～3月28日（会期：39日間）

市長提出議案 51件  
議員提出議案 7件  
陳情 2件



詳しくはこちら

## 全議員が賛成した議案

**予算** 令和5年度一般会計補正予算（第10号） など 予算案件12件

**条例** 手数料条例の一部改正 など条例案件22件

**その他** 第6次障害者福祉基本計画の策定 など事件決議3件  
市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定 など議員提出議案4件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

## 賛否が分かれた議案・請願（森本政直議員は、議長のため表決に加わりません）

賛成：○ 反対：×

議員名	盟政会			新政みらい			公明党			日本共産党三田市議団			市民の会			日本維新の会三田		無党派		結果	
	福田秀章	幸田安司	小杉崇浩	今北義明	厚地弘行	北本節代	佐貫尚子	中田哲	松岡信生	大西雅子	福田佳則	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	檜田充	美藤和広	肥後淳三	林政徳	福本愛		関口正人
予算	令和6年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	令和6年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	令和6年度市民病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
条例	市民病院事業の設置等に関する条例及び市民病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	副市長の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	学校給食費徴収条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	事件決議	市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合による急性期医療の確保に関する神戸市との連携協約の締結に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
（仮称）新ごみ処理施設建設工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
決議案	令和6年度一般会計予算に関する附帯決議の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決
	令和6年度市民病院事業会計予算に関する附帯決議の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決

※決議案第6号「田村克也市長に対する不信任決議の提出について」の各議員の賛否は、11ページをご覧ください。

## 賛否が分かれた議案

議案第6号 令和6年度一般会計予算  
議案第7号 令和6年度国民健康保険事業特別会計予算  
議案第12号 令和6年度市民病院事業会計予算



**内容** 第6号は令和6年度一般会計予算を計上する議案、第7号は令和6年度国民健康保険事業特別会計予算を計上する議案、第12号は令和6年度市民病院事業会計予算を計上する議案

可決  
賛成18名  
反対3名

### 反対討論

議案第6号について、フラワータウン駅前倉庫解体工事と忠魂堂解体工事は、解体後の目的が不明で関係団体との合意形成も不十分。解放学級事業は、市が差別を受けなければならない地域は存在しないとしながら地域を限定しており、全地域を対象とすべき。婚活支援事業と企業等と連携した出会い・結婚支援事業は、個人の選択への自治体の介入は配慮に欠けるなど問題がある。さらに、市長公約のこども医療費完全無償化、中学校給食無償化が一部でも予算化されなかったことは問題であるため、反対。また、修正案の趣旨には賛同するが原案に反対しているため、反対。

議案第6号および議案第12号の市民病院の統合に関する予算について、民意に反する再編統合ありきではなく、機能分化や連携強化の推進に切り替え、公立病院存続の道に進むべき。また、指定管理者制度は、議会の関与が薄れ、採算性重視、人材流出、医療の質の低下等の問題もあるため、反対。

議案第7号について、物価高騰等で生活が厳しい状況で、市民の命と健康、公的医療保険制度を守るため、国保税を抜本的に引き下げ持続可能な制度へ改革すべきであり、反対。

（日本共産党三田市議団 木村雅人）

### 賛成討論

議案第6号について、婚活支援事業および企業等と連携した出会い・結婚支援事業は、結婚しやすい環境を整え選択肢を増やす事業として必要。解放学級等の人権施策は、多様性を認め支え合う共生のまちづくりを進めていく上で、あらゆる差別の解消に向けた継続した取組が必要。『元気な三田』への再始動予算として、足場を固める施策に重点的に取り組む予算編成であるため、基本的には賛成するが、フラワータウン駅前倉庫解体工事、旧市民病院跡地リハビリ棟解体工事、忠魂堂の解体工事、廃プラスチック類分別の方針決定に向けた調査費は、全体方針が決まっていない現段階で承認できず、これらを削除した修正案に賛成。

議案第6号および議案第12号の市民病院の再編統合に関する予算について、整備候補地の基礎調査事業や跡地活用、指定管理者制度導入の関連事業など、新統合病院の整備を本格始動させる重要な取組の予算であるため、賛成。

議案第7号について、基金を約1億円取り崩すことで税率の上昇幅を抑制し、被保険者の負担にも十分配慮しており、高齢化で増大傾向にある医療費を適切に見積もっているため、賛成。

可決  
賛成18名  
反対3名

議案第15号 市民病院事業の設置等に関する条例及び市民病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議案第16号 副市長の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第45号 市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合による急性期医療の確保に関する神戸市との連携協約の締結に係る協議について

議案第46号 （仮称）新ごみ処理施設建設工事請負契約の締結について



**内容** 第15号は指定管理者制度導入にあたり条例の一部を改正するもの、議案第16号は副市長の定数を2人から2人以内に改めるもの、議案第45号は市民病院再編統合にあたり神戸市と連携協約を締結しようとするもの、議案第46号は現クリーンセンターの老朽化に伴いDBO方式で建替え工事を行うもの

### 反対討論

議案第15号および議案第45号について、指定管理者制度は、議会の関与が薄れ、採算性重視や職員流出等の問題もあり、十分に検討されていない中で導入すべきではない。また、再編統合は、病床数削減や出産できる場所がなくなる、遠方になるなど問題があり、連携協約締結に係る協議を進めるべきではないため、反対。

議案第16号について、厳しい財政状況下で将来的に必要なかもしれないという理由では根拠に乏しいため、反対。

議案第46号について、20年契約に大規模修繕費は入っていないが、現クリーンセンターは17年で大規模修繕をしている。また、ノウハウ消失等の問題もあり、安定性と継続性が求められる大規模公共事業においてDBO方式は認められないため、反対。

（日本共産党三田市議団 長尾明憲）

### 賛成討論

議案第15号および議案第45号について、新統合病院の整備や用地取得に関する神戸市との役割分担を明確に定め、連携・協力して取り組むことで、4カ月以上滞っていた状況を取り戻し、再編統合に向けた事業を積極的に進める必要がある。また、新統合病院へのスムーズな移行のため指定管理者制度の導入を図る必要があるため、賛成。

議案第16号について、必要に応じて副市長を柔軟に配置できるように、条例定数を2人以内とするのは適切であるため、賛成。

議案第46号について、DBO方式による施設整備は、民間の優れたノウハウを生かし、コスト削減もできる。市職員のチェック機能も継続していくことから、運営・維持管理業務委託契約も妥当なものであるため、賛成。

（盟政会 福田秀章）

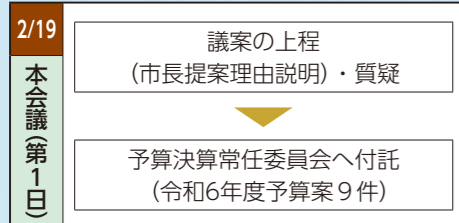


**説明** DBO方式：行政が資金を調達し、民間事業者が施設の設計・建設・運営を委託する方式

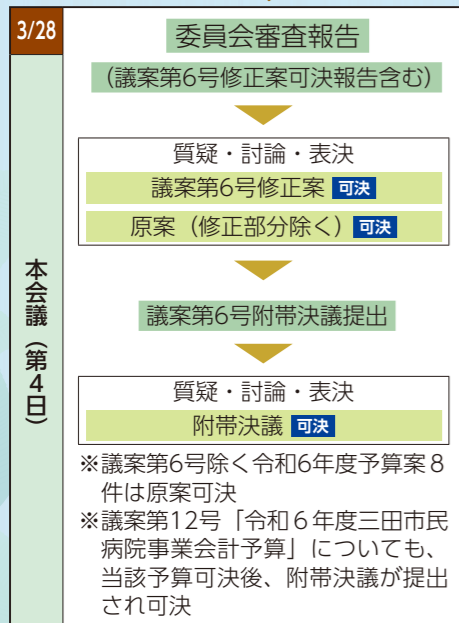
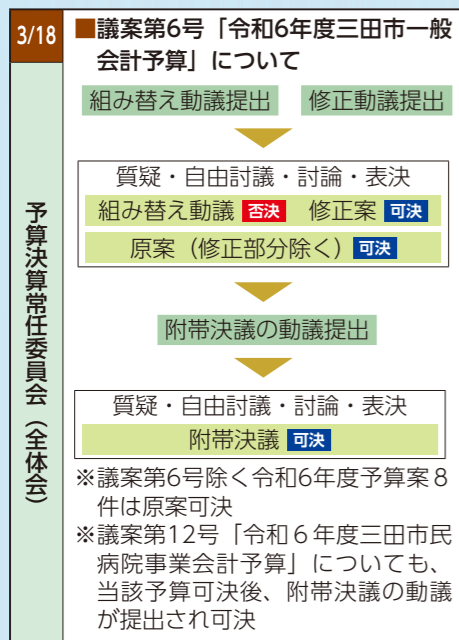
# 一般会計当初予算を修正して可決 附帯決議についても可決

令和6年度一般会計予算について、修正案及び附帯決議を賛成多数で可決しました。また、令和6年度市民病院事業会計予算についても、附帯決議を賛成多数で可決しました。(組み替え動議は、本会議での提出なし)

## 令和6年度予算審査の流れ



※3/12～15まで予算決算常任委員会各分科会等において予算審査



## 3/18 予算決算常任委員会での審査

議案第6号「令和6年度一般会計予算」について、長尾委員・木村委員・水元委員より**組み替え動議**が、今北委員・北本委員より**修正動議**がそれぞれ提出されました。質疑、自由討議の後に、討論、採決を行った結果、**組み替え動議**は賛成少数で否決、**修正動議**は賛成多数で可決となり、修正議決した部分を除く原案についても賛成多数で可決となりました。また、採決後に今北委員より**附帯決議**の動議が提出され、賛成多数で可決となりました。

議案第12号「令和6年度市民病院事業会計予算」についても賛成多数で可決となり、採決後に今北委員より提出された**附帯決議**も賛成多数で可決となりました。

### 組み替え動議の内容

議案第6号：民意に反する病院統合推進や、公約に掲げていた子ども医療費無償化と中学校給食無償化について市民に見える進捗がないなど不十分な点が多く、予算の組替えを要求するもの。

### 修正動議の内容

議案第6号：現段階で承認しがたいフラワータウン駅前倉庫解体工事、忠魂堂解体工事、廃プラスチック類分別収集調査業務及び旧市民病院跡地リハビリ棟解体工事に関する経費(総額9,384万円)を削除し、予算総額437億7,316万円に修正しようとするもの。※フラワータウン駅前倉庫解体工事は、債務負担行為(令和7年度：限度額6,906万円)についても削除。

### 附帯決議の内容

議案第6号：公民連携推進プロデューサーについて、趣旨等の十分な説明がなく、公募選考し、採用内定まで終えている。3年任期の正規職員として給与支給を予定しているが、副業兼業職でもよい。事業執行の際は、業務範囲等の説明を求めるもの。また、今後同様の事業を予算化する際は、単独事業とし、議会への十分な説明と議論を併せて求めるもの。

議案第12号：旧市民病院跡地看護師寮解体工事について、具体的な跡地活用方針が決まるまで執行を留保するよう強く求めるもの。



- ※**組み替え動議**：提出された予算案を撤回して修正した後、再提出を求めるもの
- ※**修正動議**：議案の目的の範囲内において、原案に対する修正の提議を行うもの
- ※**附帯決議**：可決された議案に対して、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるもの
- ※**債務負担行為**：「債務」とは、経費の支出義務であり、「債務負担行為」は、将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと

## 3/28 本会議の経過

厚地予算決算常任委員会委員長より、委員会での審査経過と修正案可決報告を含む結果報告が行われました。その後、賛成討論・反対討論においてそれぞれの意見が表明され、採決を行った結果、令和6年度一般会計予算の修正案が賛成多数により可決、修正議決した部分を除く原案も賛成多数により可決となりました。また、令和6年度一般会計予算及び令和6年度市民病院事業会計予算に関する附帯決議も賛成多数により可決となりました。

(各議員の賛否は8ページ、反対・賛成討論は9ページをご覧ください。)

# 市長に対する不信任決議を否決

令和6年3月定例会第4日(3月28日)に、市民病院再編統合問題などをはじめ、市政への不信や混乱を招いた市長の政治的責任は免れ得ないものであり信頼回復を図ることはできないとして田村克也市長に対する**不信任決議案**が議員5名の連名で提出されました。採決の結果、賛成者が出席議員数の4分の3以上を満たさず、否決されました。



※**不信任決議**：地方自治法に基づき議会が首長を信任しない旨を議決すること。可決した場合、首長はその通知を受けた日から10日以内に議会を解散するか、解散しないときは、首長が失職する。

## 田村克也市長に対する不信任決議案(全文)

市長就任以降、議場での発言による言葉の定義の問題や、病院問題に関する公約をわずか3カ月半で撤回するなど、民主主義の根幹である選挙、議会、市民を軽視するような事象が散見されてきた。そのため昨年12月定例会では、圧倒的多数で「市長に対する問責決議」を可決したが、市長自らの責任については、辞職を否定し給与削減など具体的な姿勢を見せることもなく今日に至っている。

こうしたこの間の政治姿勢に加えて、令和6年度予算案においては公約の重要課題であった「子ども医療費無料化」「中学校給食無償化」に関して、議会での答弁において「令和6年度の実施に向けて」や「一丁目一番地として令和6年度から実施に向けてまいりたい」と答弁していたにも関わらず、何一つ予算付けされない、市民の期待を大きく裏切る予算案が提案されてきた。

市民との約束である公約であることに加え、議会においても令和6年度からの実施を示唆する発言がなされてきたにも関わらず、発言を裏付ける予算付けがなされない。また、その後においても言葉の意味を理解せず発言をするなどが繰り返されている。今後の議会において、我々議員は市長発言の何を信じれば良いのか。

市長の政治姿勢の在り方は市政に対する市民の信頼を大きく損なうものであり、市長就任以降、多くの市民から市政に対する不満の声、信用できないという声が上がっている。市政への不信、混乱を招いた市長の政治的責任は、免れ得ないものである。

以上のことから、現田村市政では、市政への信頼回復を図ることはできないと判断するものである。よって、三田市議会は、地方自治の精神に則り三田市の未来と三田市民の暮らし向上のために、田村克也市長の不信任決議を求めるものである。

以上、決議する。

## 経過

本会議(第4日)、田村克也市長に対する不信任決議案が長尾議員、水元議員、木村議員、林議員、福本議員の連名で議長へ提出されたため、議会運営委員会において意見書等調整会議を設置し、意見調整・協議を行いました。協議の結果、議員提出議案として取り扱うことになりました。本会議において、上記議員5名の連名により不信任決議案が提出され、反対討論・賛成討論による意見表明の後、採決を行った結果、賛成者が出席議員数(22人)の4分の3以上(17人)を満たさず(別表：賛成10人、反対12人)、否決されました。

### 議員の賛否

会派名	議員名	賛否
盟政会	福田秀章	×
	幸田安司	○
	小杉崇浩	×
	今北義明	○
新政みらい	森本政直(議長)	×
	厚地弘行	○
	北本節代	×
	佐貫尚子	○
公明党	中田哲	○
	松岡信生	×
	大西雅子	×
日本共産党三田市議団	福田佳則	×
	長尾明憲	○
	水元サユミ	○
市民の会	木村雅人	○
	榎田充	×
	美藤和広	×
日本維新の会三田	肥後淳三	×
	林政徳	○
無会派	福本愛	○
	関口正人	×
	井上昭吾	×

※議員数(22人)の3分の2以上(15人)が出席し、出席議員4分の3以上(17人)の同意が必要。

### 反対討論

市民の健康と命を守る砦である市民病院の存亡に関わる大切な時期であり、政治的空白が許されない現状において不信任決議を可決すれば、再編統合への動きに水を差すこととなり、共に進める済生会兵庫県病院や神戸市、神戸大学医学部、兵庫県の信頼を失うことにもなりかねない。令和10年度中の新病院開院に向け粛々と動きを進める時であるため、反対。(市民の会 榎田充)

### 賛成討論

令和5年12月定例会で市長に対する問責決議を可決したが、辞職を否定し、給与削減等も行わない市長の姿勢や、市民病院再編統合に関する公約撤回、子育て支援に期待する市民への裏切りなどから、多くの市民が選挙のやり直しや市政への不満の声をあげ、リコールを求める動きもあるなど、すでに信頼回復はできず、市政への不信と混乱を招いた政治的責任は重い。賛成。(日本共産党三田市議団 水元サユミ)

### 賛成討論

令和6年度予算において子育ての公約が実現されず、当選後の地域医療市民会議開催については、市長は問題ないとの認識だが、しっかり精査する必要がある、より不信感が増した。また、市民病院再編統合問題について、市職員や市民病院の医療従事者から直接話を聞き、再編統合が必要と判断した考えを支援者を含め市民に何度も説明し、意見交換を行うべきであった。これらの対応により市長を信頼することができないため、賛成。(日本維新の会三田 林政徳)

新年度予算案を厳しくチェック!



# 令和6年度の予算について審査しました

「未来に向けた土台づくり『元気な三田』への再始動予算」と位置付け編成された新年度予算。さまざまな事業が盛り込まれています。三田市議会では、3月定例会会期中に、新年度予算を審査する予算決算常任委員会を開催しました。委員会で審査した内容の一部をご紹介します。なお、一般会計当初予算案については、9,384万円減額する修正案を本会議において可決しました。(詳細は10ページをご覧ください。)

**一般会計** 437億7,316万円  
**総額** 869億9,306万円

※総額のうち  
**特別会計** 220億1,170万円  
**企業会計** 212億 820万円

check

## 令和6年度予算の3つの重点施策

- 1 「こどもを核としたまちづくり」に向けた施策の充実**  
志手原幼稚園増築及び大規模改修事業、学校給食費保護者負担金軽減事業など
- 2 子どもから高齢者まで誰もが「安心して暮らせる三田」**  
新統合病院整備関連事業、消防指令業務共同運用事業など
- 3 「元気な三田」を見据えた未来への投資**  
大規模改修等公共施設マネジメント、新ごみ処理施設整備事業など



**新年度予算 PICKUP!** 各分科会や統括質問での審議内容をQ&A方式で紹介します! = 議員 = 市

### 上野台中学校と八景中学校の再編統合

令和5年度候補地調査での選定の進捗は。また、上野台中学校小規模化の課題も含め取組成果が見えないが、現状は。



候補地選定委託業務の結果に基づき候補地を選定し、取得に向け取り組んでいる。また、上野台中学校と八景中学校統合の考え方のもと、上野台中学校小規模化の課題解決に向け、令和6年度中に方向整理に取り組む。

### 水泳授業民間施設利用事業

水泳授業の時間数は増減したのか。また、対象校拡大を含め今後の方向性は。



令和5年度開始の三輪小学校では前年度同様10時間程度実施したが、専門指導による学習密度が非常に高いため、令和6年度は8時間程度で計画している。また、着衣水泳授業は小学校段階で必ず行う。今後、大規模校について、専門インストラクターの派遣等により専門的な授業を取り入れ、教職員の負担軽減も図る。

### 休日応急診療センター使用料

使用料が大きく増加している要因と混雑緩和への対応は。

患者数の伸び率増加と新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行を勘案して収入増を見込んでいる。混雑緩和については、医師や看護師等の増員や問い合わせ電話でのトリアージ、会計待ちの方をスマホで呼び出すシステムの活用等に取り組んでいる。今後も診察予約システム導入の検討等によりサービス向上に努める。



### ごみ出しが困難な高齢者のごみ回収の事業化

事業化に向けた今後の方向性は。

対象者急増への対応が困難なため令和6年度予算は見送ったが、次善策として集合住宅等でのごみ出しルール緩和、公共施設での福祉専用ごみステーションの設置、農村部のごみステーション増設等の検討と組み合わせにより、ニーズに一定対応でき、戸別収集対象者もある程度限定されることから、安否確認を重視した戸別収集の令和7年度以降実施に向け検討を進める。

### 公共交通事業者への支援

経常欠損が生じているバス路線に対する補助金約1億円を予算計上しているが、今後増えるのか。地域公共交通の考え方は。



年々増額傾向にあるが、路線が廃止された場合、代替手段確保に補助額より多額の経費が想定される。各路線の役割を検証し、地域交通事業者の理解と協力を得ながら財政支援の適正化に取り組むとともに、鉄道、バス、おでかけサポート事業等の既存資源を活用し、限られた財源に適した交通手法を、地域を交えて検討していく。

### 小規模農家への農業用機械の導入支援

補助対象と内容は。また、小規模農家支援の考え方は。

小規模農家を対象にトラクター、コンバイン、田植え機、トラクターアタッチメントの購入に対して、補助率10分の1、上限30万円を補助する制度。農地集積が厳しい中山間地域という独自性もあることから支援しており、農家からは高評価。令和5年度と同程度予算を計上しているが、要望が多ければ補正予算や予算流用などで期待に応えていきたい。

### 公民連携推進プロデューサー

副業・兼業人材の活用ではなく、常勤職員として採用する考え方は。

公民連携の推進に向け、民間の営業力によって、より積極的に公の仕事と民の仕事をつなげるため、市で活躍する人材を常勤で採用したい。



### 議論の結果は...



予算決算常任委員会では、一般会計予算について、組み替え動議を否決、修正動議・修正議決した部分を除く原案を賛成多数で可決しました。国民健康保険事業特別会計予算・市民病院事業会計予算も賛成多数で可決しました。また、一般会計予算・市民病院事業会計予算について、附帯決議を可決しました。

その後の本会議においても、一般会計予算は賛成多数で修正可決、国民健康保険事業特別会計予算・市民病院事業会計予算は賛成多数で可決、その他予算案は全会一致で可決しました。また、一般会計予算、市民病院事業会計予算は附帯決議が賛成多数で可決されました。

# 議会報告会・意見交換会を開催

市民の皆さんのご意見を生かします



市議会では、4月21日に三田市役所6階委員会室において議会報告会・意見交換会を開催し、23名が参加されました。当日は、議員がプロジェクターを使って、令和6年度予算の内容や審査内容、市民の皆さんからいただいたご意見・ご提案について、議会としての見解を説明し、参加者の皆さんと意見交換を行いました。意見交換会でいただいたご意見のうち、一部をご紹介します。

4月21日(日)

= 参加者 = 議員

10時～11時30分

【出席議員】(班長) 松岡信生 (副班長・司会) 小杉崇浩  
今北義明、北本節代、関口正人、肥後淳三、木村雅人



テーマ

人口は兵庫県でもマイナス。対策しないと減る一方だが、ニュータウンなど一戸建てが多く、増やしようがないのではないか。

若い人が三田に残らないことが大きな問題であり、若い人をどう残すか、今いる人に住み続けてもらう政策が必要で、今後も財政事情を勘案しながらできることを考え直す時期と考える。議会もどう人口減少を食い止めるか考えなければならない。今後も減少するのは確実で、空き家の活用等の政策が求められる。

13時～14時30分

【出席議員】(班長) 福田秀章 (副班長・司会) 林政徳  
榎田充、長尾明憲、大西雅子、中田哲、井上昭吾



テーマ

ぼう大なデータが流通する現代社会はリスク管理を重点的にしないと危険である。ICTリテラシー教育を学校教育にもっと取り入れられないか。

消費者教育やネットリテラシー教育は大切で、今後学校のカリキュラムの中で重要になると考えるが、家庭でも使用ルールを話し合う等、リスク管理に取り組んでいただきたい。議会としても教育委員会に対してICTリテラシー教育の強化を要望していく。

説明

ネットリテラシー：インターネットを正しく使いこなすための知識や能力

15時30分～17時

【出席議員】(班長) 佐貫尚子 (副班長・司会) 幸田安司  
厚地弘行、美藤和広、福田佳則、水元サユミ、福本愛



テーマ

電池の収集場所について、改善は考えられているか。

議会からも分別や収集場所の課題を訴えている。市民センター、電気店等電池の種類により回収場所が違うことや、持っていくことが難しい方もいることを踏まえ、今後、所管常任委員としても研究していく。

特集

## 三田市高校生議会



地域に愛着や関心を持ち、まちづくりに参加する意欲を高めるとともに、将来にわたって三田市に住み続けたいと思えるまちづくりに生かすことを目的に、1月28日に高校生議会が開催されました。市内7校から13名の高校生が参加し、市政に対する質問・提案を行いました。

どんな質問をしたの？

議長

(前半) 三田西陵高校 古瀬 明日栞さん  
(後半) 三田学園高校 谷口 聖真さん

学校名・議員名	質問・提案事項
ひまわり特別支援学校 西川 晴輝さん	誰もが安心して、自分が行きたい場所へ移動し、活動ができるまち三田になるように
有馬高校 太田 優花さん	生徒間のいじめが原因で学校に行けない人を減らすにはどうしたらよいか
三田祥雲館高校 田中 舜雅さん	三田市の人口減少問題について
三田西陵高校 中田 琴絵さん	保育士を増やすためにできることについて
三田学園高校 廣瀬 和翔さん	高校生は三田市民病院統合に興味や関心を持っているの？
クラーク記念国際高校 入江 航生さん	三田市のSNS広報について
北摂三田高校 奥山 もにかさん	高校生の居場所になる環境について
三田祥雲館高校 脇尾 弥可子さん	文化に関する施策について
有馬高校 佐々木 瑠璃さん	LGBTQに関する教育環境について
三田西陵高校 古瀬 伊吹さん	三田市における医療を必要としている交通弱者向け交通システムについて
三田学園高校 浦田 景太郎さん	三田から世界へ～三田市から世界で活躍できる人材の育成～

高校生議員の皆さんに聞きました

立候補した理由

- 探求授業での研究成果を発表できるチャンスだから
- 自分の考えを評価してもらえる貴重な機会だから
- 昨年の先輩の事業提案を引き継ぎ、進化させたいと思った
- 同年代の参加者と交流し、刺激を受けたかった など

高校生議会を終えた感想

- 多様な意見に触れ、視野が広がった
- 新たな人脈ができた
- 市政に興味をもった
- 答弁を受け、自分の考えについての課題が明確になったことで精度向上につながった
- 理想を実現に近づけるプロセスの重要性を感じた など

議長講評

三田市の重要な決定を行う大変重みのある本会議場で、これまで一生懸命準備をしてきた自らの考えを発言し、市からの答弁を受け、また、他の参加者の多様な意見にも触れるといった今日の経験は、必ず皆さんの財産となるでしょう。

普段の生活に身近なものから、市政の課題へ鋭く切り込むものまで、実に完成度の高い質問や提案に、私たちも大きな刺激を受け、三田の未来に希望を感じました。

皆さんは18歳から投票権を、25歳になれば被選挙権を得て政治への参加が可能となります。政治や社会へ積極的に参加する意識と、故郷への愛着を持って、今後大いにご活躍されることを心から願っております。

(三田市議会議長 森本 政直)

高校生議会の詳細は、右記二次元コードからご覧いただけます。

